

編集後記

❖ ついに今年8月号をもって本誌が「終刊」になることが公表された(p.42、4段目)。残念ながら僕自身は、この8月号までで皆さんとお別れして9月以降は関与しないことになりました。残された期間に渾身の記事をお届けするべく、鋭意取り組んでいます。(淳)
 ※特集2の記事にあるように、在外校同士がつながることで広がる世界は限りない。外部から本誌に携わる編集者として、プロジェクトの展開を知らせる記事が届くと、わくわくして読んだもの。JOESの皆さんには、どうぞこれからも、ますます心のこもったネットワークづくりを。(然)
 ＊この4月、こども家庭庁が発足した。期待は大きい。これでもかというぐらい政策を進めてほしい。大切なキーワードは「アウトリーチ」だろう。困っている子どもや家庭をサーチライトで探し当てるようにして、支援の手を差し伸べること。「創ってよかった」といわれる役所であってほしい。(鳥)

6月号「特集」の予定は…

- 学校の流行
- 永住する家族

2023年5月号 No.603

発行 2023年5月1日

発行人 綿引 宏行

編集人 鳥田 誠一

公益財団法人
 発行所 海外子女教育振興財団

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4
 愛宕東洋ビル6階

制作協力 Roots International

(株)東京美術

※無断での改変・再販を禁ず。

■ 投稿募集ほか ■

本誌への投稿や関連情報の提供を随時受けつけています。

お名前とご連絡先を明記のうえ、「月刊『海外子女教育』編集部」宛てとして、E-mail、FAX、郵便のいずれかでお送りください。

◎海外・帰国子女教育、国際教育関連の論文やエッセイ、研究レポート

◎海外・帰国子女教育、国際教育関係の研究発表会などの催しのご案内

◎連載「家族/クロスカルチャー」取材対象家族を募集しています。

海外生活にまつわるご家族のエピソードをお聞かせください。

◎「みんなの広場」タイトル文字、作文・詩・短歌・俳句、習字・イラストなど。大人のかたの投稿(1200字以内)も大歓迎です。

※掲載・不掲載にかかわらず、作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

※掲載作品に関する著作権は本財団に帰属することとします。

※二重投稿はご遠慮ください。

※お知らせいただいた個人情報、作品掲載以外の目的では利用しません。



🍷山梨県の大石公園にて。

富士山、大好きです。見ているだけで、気持ちがだんだんだらかになっていくのを感じます。みなさんにも、きっとお気に入りの景色があることと思います。ぜひ編集部宛てに、簡単な説明をつけてお写真をお送りください。お待ちしております！ (松)

1都1道2府43県めぐり クイズ解答

- ① B ② D

本誌へのご意見・ご感想をお待ちしております。

海外子女教育振興財団 月刊『海外子女教育』編集部

● E-mail kikanshi@joes.or.jp

● TEL 03-4330-1350 / FAX 03-4330-1355

● URL <https://www.joes.or.jp>